

大理石に艶ができる ポリシャと白パットでいいツヤ出します！

■[用途と使用可能面積など]

- <用途>:天然大理石のツヤ出し ●<大理石の色>:黄肌色系・黄赤色系・赤茶色系・白灰色系
- <使用可能面積>:①黄肌・黄赤・赤茶系50~80㎡/900g ②白色系50㎡/900g

■[特長]

1. (作業がカンタン) 通常のポリシャと白パット及び本剤で大理石の光沢が回復します。
2. (一工程だけで済む) 何工程も繰り返す必要はありません。一工程で済みます。
3. (光沢維持管理) 歩行頻度にもよりますが3・6・12ヶ月のいずれかの周期でワックスなしの光沢維持管理が可能です。
4. (平均光沢度90) 大理石の種類にもよりますが90前後の光沢度まで回復可能です。
5. (少量の水) しか使いませんのでシミの心配がありません。
6. (傷めません) 本剤は大理石を溶解させたり性質を変えてしまう、削れるなどの心配はありません。

■[必要最小限の資機材] ①本剤 ②12または14インチポリシャ ③白パット ④少量の水。

■[あれば便利な資機材] 光沢度計、養生用ビニルロール、スクイジー、バキューム、バケツ、小へら、ウエス等

■[作業方法]

- 1回のツヤ出し範囲は2㎡前後が適当です。ポリシャタンクには水を注入しておいて下さい。本剤を少量の水でペースト状にしてポリッシングします。
- ①パットまたは大理石に本剤を適量(10~20g)塗布してポリシャをのせて下さい。
- ②ゆっくりとポリシャを動かして少量の水でペースト状になるようにゆきわたらせて下さい。
- ③2~3分程度ゆっくりとポリシャを移動させるとペースト状の本剤の合間からキラキラした大理石の表面が見え隠れするようになります。
- ④一部分をスクイジー等でかっばいて光沢の度合いを確認して下さい。
- ⑤ポリシャと使用済みの本剤をスクイジーで集め次の範囲に移動させて下さい。集めた本剤はある程度再利用できます。容器には戻さないで下さい。
- ⑥適量の本剤を追加して④から繰り返して下さい。
- ⑦作業が完了したらモップ等で水拭きするか汚水をバキュームして下さい。光沢が不十分な箇所は手直して下さい。
- ⑧全作業範囲が完了したら仕上りを作業前の光度と比較して完了。

■[本剤の注意事項]

- 本来の用途以外には使用しないで下さい。●本剤はアルカリ性ですからゴム手袋を装着して下さい。
- 石材の目地等接合部は本剤が入り込みますから念入りに水拭きして除去して下さい。
- ツヤ出し面に未使用の本剤を再接触させるとツヤが落ちますのでご注意ください。(再ツヤ出しは可能です。)
- 白色系大理石はツヤ出し作業にやや時間がかかります。
- 穴が大きく多い大理石には不向きです。●緑・黒色系大理石には不向きです。
- 御影石や砂岩、その他大理石以外の石材及び人造石にはツヤ出しできません。

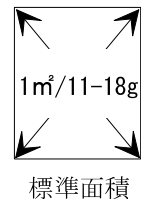
■[荷姿] 900g×6本

■工程比較

大理石の状態	傷とり	ワックス剥離直後			光沢	
#参考粒度	#400	#800	#1500	#3000	#6000	#8000
MLP-5080	ワックス剥離	ここを1工程でツヤ出し可能				



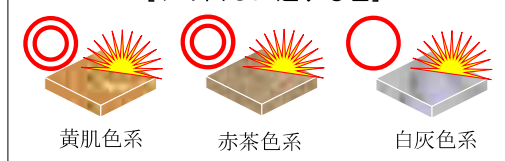
大理石の
ツヤ出し剤
MLP-5080
900g



液性	PH14	アルカリ性
	PH7.0	
	PH0	



[ツヤ出しに適する色]



[適さない大理石・その他の石材]



- * 本剤はポリッシング(磨く)タイプのツヤ出し剤です。大理石が削れることはありません。
- * 肌色系大理石に特に速攻で光沢が出ます。目立たない部分でテストの上でお使い下さい。
- * 白色系大理石は肌色系と比べて光沢がでるまでにやや時間がかかります。
- * 黒・緑系大理石には使用できません。その他特殊なものはテストして下さい。
- * 使用面積は表面処理の状態によりかわります。傷があるときには下地処理が必要な場合があります。
- * 作業にあたっては注意事項をよく読んでからお取扱い下さい。

D/AK-MLP-200202270-A7

製品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

お問い合わせは



PASHICA パシカ有限会社
TEL(03)5761-8571 FAX(03)5761-8572
〒201-0012 東京都狛江市中和泉5-6-20
URL: <http://www.pashica.jp/>
mail: hello@pashica.jp

opteron/hdamb/20140408